

第 10 回鋼構造実験見学会

「孔あけ加工方法の違いによるすべり係数に関する試験」

主催 日本建築学会中国支部, 日本鉄鋼連盟

共催 日本建築構造技術者協会

協賛 協同組合広島県鉄構工業会

会場：岡山理科大学構造実験室（岡山市北区理大町 1-1, TEL：086(256)9753）

講師：田中利幸（岡山理科大学）

日時：10月20日（土） 13:00～16:00

定員・会費：30名・無料

試験概要：高力ボルトの摩擦接合のボルト孔の加工に関しては、建築工事標準仕様書 JASS6 においてドリルあけと規定されている。本試験においては、最近精度的に実用の域に達してきているとされているレーザー加工の孔あけによるすべり係数を、従来のドリル加工による場合と比較確認する。また、一部プラズマ加工による孔あけの場合も確認する。試験体および試験方法は「鋼構造接合部設計指針」の「付7 すべり係数評価試験方法」によるものとする。使用鋼材は SN400B, SN490B, 高力ボルトは摩擦接合用高力六角ボルト(F10T)M16 および M20 を使用する。添板の摩擦面はショットブラストとし、レーザーおよびプラズマの切断開始位置は載荷方向と直角位置とする。

対象：本会・協賛団体会員, 建築技術者, 大学院生, 大学生

問い合わせ、参加受付先

〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1 岡山理科大学工学部建築学科 田中利幸

E-mail: tanaka@archi.ous.ac.jp, TEL/FAX:086-256-9753